

<平成30年度>

第2回 理事会議案書

平成30年 6月 8日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

平成30年度
第2回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所：鉄 鋼 会 館 805 号室

日 時：平成 30 年 6 月 8 日 (金)
11：30～13：45

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告（定款第 36 条）

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第 1 号議案 新規賛助会員の入会承認の件 ----- 理 30-2-議 1 (p3)

第 2 号議案 第 51 回通常総会 議案書確認の件 ----- 理 30-2-議 2 [総会議案書]

6. その他

(1) 構成員登録状況 ----- 理 30-2-他 1 (p5-9)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- 理 30-2-他 2 (p10)

(3) 主要会議日程 ----- 理 30-2-他 3 (p11)

(4) 支部報告 ----- 理 30-2-他 4 (p12-20)

(5) その他 ・ 本日のスケジュール確認 ----- 理 30-2-他 5 (p21-22)

7. 閉会の辞

以上

第1号議案 新規賛助会員の入会承認の件

別紙の企業より賛助会員として入会希望があり、定款第6条第1項に基づき入会を承認いただきたい。

第2号議案 第51回通常総会 議案書確認の件

本日15:00開催予定の第51回通常総会の議案について、別冊の議案書をご確認いただきたい。

第1号議案： 新規賛助会員の入会承認の件

【別 紙】

◎ 新規入会(希望)会社

会 社 名	株式会社 トーネジ
入 会 予 定	平成30年度 <入会申込書受領済み>

<会社概要>

設 立	1957年4月
資 本 金	1600万円
従 業 員	60名
取 扱 商 品	ボルト、アンカー(施工)等
主要取引先	建築土木業界各社、ファブリケーター
主要取引銀行	三菱UFJ銀行(小岩支店) きらぼし銀行(新小岩支店) 商工中金(押上支店)
本社 支社・支店、工場	茨城県つくば市 本社・工場 3営業所、1出張所
会 社 沿 革	1957年4月 東京都葛飾区にて有限会社東京ネジ製作所を創業。 1970年7月 建築用ハイテンションボルトの生産に着手。 2016年9月 つくば工場及び支社を新設。 2018年4月 株式会社トーネジに社名変更、本社をつくばに移転。

そ の 他 の 事 項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
平成30年3月31日現在 (平成29年度増減数)		56	27	2,201
平成30年5月22日 第1回理事会	3月31日	(0)	(7)	2,201
平成30年6月8日 第2回理事会	6月1日	13	3	2,211
累 計		13	3	2,211

《グレード別内訳》

S : 5 H : 247 M : 828 R : 610 J : 52 未 : 469 合計 : 2,211

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

平成30年6月1日現在

区分	登録・取消	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数	
	承 認	登録 社数	取消社数									
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他	合 計			
平成10年度合計		67	21	48	26	11	11	94	211	-144	3,959	
平成11年度合計		46	63	76	32	18	4	86	279	-233	3,726	
平成12年度合計		22	48	52	31	11	5	83	230	-208	3,518	
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261	
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017	
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849	
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813	
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770	
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739	
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711	
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652	
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成 30 年 度	第 2 回 (6月1日)	13	1	0	0	0	0	2	3	10	2,211	
	第 3 回 (月 日)											
	第 4 回 (月 日)											
	第 5 回 (月 日)											
	第 6 回 (月 日)											
	第 7 回 (月 日)											
	第 8 回 (月 日)											
	第 9 回 (月 日)											
	年度末処理											
	30年度計		13	1	0	0	0	0	2	3	10	2,211
累 計		958	498	646	509	124	78	1,113	2,968	-2,010	2,211	

1. 転・廃業内訳	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	転業 1社	転業 3社	転業 0社	転業 0社	転業 0社
	廃業 5社	廃業 2社	廃業 6社	廃業 9社	廃業 0社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
平成26年度	0	2	6	8	0	23	39
平成27年度	1	1	3	6	0	14	25
平成28年度	0	2	1	8	0	22	33
平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
平成30年度	0	1	0	0	0	2	3

構成員登録社数・増減一覧表

(30. 4. 1~30. 6. 1)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道	北海道	71	2		2	73
	青森	39			0	39
	岩手	31			0	31
	宮城	41			0	41
	秋田	24		1	-1	23
東北	山形	25			0	25
	福島	63			0	63
	茨城	61			0	61
	栃木	50			0	50
	群馬	66		1	-1	65
関東	埼玉	53			0	53
	千葉	56			0	56
	東京	49			0	49
	神奈川	38			0	38
	新潟	90			0	90
北陸	山梨	31			0	31
	長野	66			0	66
	富山	39			0	39
	石川	31	1		1	32
	福井	38			0	38
中部	岐阜	70	1		1	71
	静岡	95			0	95
	愛知	145			0	145
	三重	63			0	63
合 計		2,201	13	3	10	2,211

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	32			0	32
	京都	48	1		1	49
	大阪	111	4		4	115
	兵庫	73			0	73
	奈良	39			0	39
中国	和歌山	37	1		1	38
	鳥取	15			0	15
	島根	24			0	24
	岡山	34			0	34
	広島	75		1	-1	74
四国	山口	41			0	41
	徳島	26			0	26
	香川	47			0	47
	愛媛	40			0	40
	高知	22			0	22
九州	福岡	52			0	52
	佐賀	24			0	24
	長崎	19			0	19
	熊本	22	1		1	23
	大分	18	2		2	20
	宮崎	23			0	23
	鹿児島	31			0	31
	沖縄	13			0	13
合 計		2,201	13	3	10	2,211

平成30年6月1日現在
平成30年6月8日決定

3社)

平成30年6月1日現在
平成30年6月8日決定

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

平成30年6月1日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成10年度計		193,353	87.7	69,856	84.2	15,778	80.6	7,774,450	83.8
平成11年度計		197,017	101.9	68,108	97.5	17,361	110.0	7,678,750	98.8
平成12年度計		194,481	98.7	70,808	104.0	15,305	88.2	7,846,050	102.2
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度	4月	11,874	109.5	4,352	122.3	194	93.3	444,900	121.5
	5月	11,219	93.4	4,356	93.2	176	44.3	444,400	91.2
	6月	12,357	102.6	4,795	105.2	188	98.4	488,900	105.1
	7月	11,571	104.5	4,341	111.0	216	248.3	444,900	112.5
	8月	11,473	96.6	4,595	92.8	196	408.3	469,300	94.3
	9月	11,651	99.0	4,409	100.2	176	97.8	449,700	100.2
	10月	11,600	101.9	4,103	102.1	246	215.8	422,600	103.7
	11月	11,591	102.3	4,527	109.0	258	396.9	465,600	111.2
	12月	10,151	94.6	3,652	89.6	127	73.0	371,550	89.3
	1月	9,468	85.5	3,960	92.8	118	92.2	401,900	92.8
	2月	10,083	97.5	3,695	92.4	681	144.9	403,550	95.3
	3月	9,990	102.1	3,916	115.4	212	194.5	402,200	116.7
年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度	4月	11,733	98.8	4,323	99.3	133	68.6	438,950	98.7
	5月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	6月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	7月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
年度計		11,733	98.8	4,323	99.3	133	68.6	438,950	98.7

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

平成30年度主要会議日程表

H30.5.9 現在

□ ↓ 夏期・年末年始休日
 ■ ↓ 土日・祝日
 ◇ ↓ 振替休日
 ◇ ↓ 休日出勤

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4	1	2	3	4	5	6	7	10	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
22	23	24	25	26	27	28	29	30												
29	30																			
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30										
27	28	29	30	31																
6	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
24	25	26	27	28	29	30														

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理研会 事務局局長会	委員会	その他	備考
平成 30 年								
4 月 4 日 水	11:00 ~ 17:00	11:00						※事務局局長会議(金沢)
4 月 6 日 金	15:00 ~ 19:00				15:00 ※			
5 月 9 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
5 月 22 日 火	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00 ※					※総会招集決議
6 月 8 日 金	10:00 ~ 18:30	10:00	11:30	15:00				14:00 全統評決主総会
6 月 15 日 金	14:00 ~ 17:00				14:00 運営/技術			
7 月 4 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						新理研会初回
7 月 12 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		
7 月 13 日 金	9:30 ~ 12:00							
8 月 29 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
8 月 30 日 木	11:30 ~ 15:00							11:30 鉄骨審議会
9 月 11 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
9 月 20 日 木	10:00 ~ 17:00	10:00	12:00			9:30 特別		15:00 賛助会員懇談会
9 月 21 日 金	9:30 ~ 12:00							13:30 青年部会等関係者交流会
10 月 10 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 6 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 15 日 木	10:30 ~ 18:30	10:30	14:00					
11 月 16 日 金	9:30 ~ 12:00					9:30 特別		
12 月 14 日 金	14:00 ~ 19:30	14:00						17:00 懇親会
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※			18:00 事務局職員との懇親会
2 月 13 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						※全国理研会長会
2 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					
2 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00					9:30 特別		
3 月 12 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
3 月 20 日 水	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					

開催年月日	時間	三役会	理事会	総会	全国理研会 事務局局長会	委員会	その他	備考
平成 31 年								
4 月 5 日 金	12:00 ~ 15:00							※事務局局長会議(金沢)
5 月 10 日 金	14:00							※総会招集決議
5 月 21 日 火	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					14:00 全統評決主総会
6 月 7 日 金	14:00							新理研会初回
7 月 12 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00			9:30 特別		15:00 賛助会員懇談会
7 月 13 日 金	9:30 ~ 12:00							13:30 青年部会等関係者交流会
8 月 29 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
8 月 30 日 木	11:30 ~ 15:00							11:30 鉄骨審議会
9 月 11 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
9 月 20 日 木	10:00 ~ 17:00	10:00	12:00			9:30 特別		15:00 賛助会員懇談会
9 月 21 日 金	9:30 ~ 12:00							13:30 青年部会等関係者交流会
10 月 10 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 6 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
11 月 15 日 木	10:30 ~ 18:30	10:30	14:00					
11 月 16 日 金	9:30 ~ 12:00					9:30 特別		
12 月 14 日 金	14:00 ~ 19:30	14:00						17:00 懇親会
1 月 18 日 金	9:30 ~ 18:00	9:30	12:00		15:00 ※			18:00 事務局職員との懇親会
2 月 13 日 水	14:00 ~ 17:00	14:00						※全国理研会長会
2 月 21 日 木	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					
2 月 22 日 金	9:30 ~ 12:00					9:30 特別		
3 月 12 日 火	14:00 ~ 17:00	14:00						
3 月 20 日 水	10:30 ~ 17:00	10:30	14:00					

【青年部会】
 総会・全国大会：平成30年4月21日(土) 広島
 総会・全国大会：平成31年4月20日(土) 名古屋

【青年部会】
 総会・全国大会：平成30年4月21日(土) 広島
 総会・全国大会：平成31年4月20日(土) 名古屋

* = 変更箇所

北海道支部(鉄骨部会)状況報告書 (平成 30 年 5 月)

作成日 平成 30 年 6 月 5 日

(A)

支部名	①鉄骨部会各支部の活動状況	②鉄骨部会活動状況
道 央	・ 5/9 三役会、役員会 ・ 5/15 例会	
函 館	・ 5/18 総会、懇親会	
室 苦 小 樽	・ 5/2 三役会	
旭 川	・ 担当者会議 (第 2 月曜日)	
北 見	・ 月例会議	
帯 広	・ 月例会	
釧 路	・ 6/13 道東 3 地区合同会議開催予定	

(B)

支部名	① 手持ち工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③ 見積物件数			④ 受注価格(千円)建方込・別		
	H	M	R・未		多い	同じ	少ない	S 造 (込)	コラム (込)	S R C (別)
道 央	5～9	3～5	1～3	90～120	8	20	3	220～ 300	220～ 361	320
函 館	3	4	2～3	80～100	0	8	0	240～ 300	240～ 300	
室苦小樽	2～4	1～4	1～2	100～110	3	8	0	220～ 340	230～ 340	
旭 川	7～8	5～6		120	0	0	7	240～ 250	250～ 265	
北 見		4 以上		110	0	3	0	250～ 340	250～ 340	
帯 広	3～5	2～5	2～3	100～120	1	8	0	230～ 320	230～ 320	
釧 路	7	3～12	12	90～120	0	4	1	250～ 330	250～ 360	

(C)

支 部 名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界 に提案
道 央	- 各社の山積状況：H グレードは年内から来春まで山積みが高い。各社とも山積調整に苦慮している。 - M グレードも概ね年内は山積みが高い。RJ 未グレードは良好のところが多い。 - BCP など鋼材の納期遅延、値上げを懸念する声が多い。 - 共同積算：1-5 月 64,650 t、平年比 101%、前年比 89%	
函 館	- 各会員共、先月と変わらず工場稼働率は高めで推移している。山積みも変わらず、多いところで 9 月位、平均すると 8 月位迄。 - 見積り件数は例年並みに出ており、価格については大きく変わりなし。	
室苦小樽	- 引き合い物件は多いが、工場稼働率が 100%を超えているためお断りしている状況。図面承認遅れのため製作工程が把握できなくなっている。 - 本州の商社も製作可能なファブを探している模様。	
旭 川	旭川市発注物件の見積りが入り出し、見積りが少し出てきている感がある。	
北 見	各現場の着工時期が重なり山積み状態。相変わらず設計の遅れも工程に影響を与えている。	
帯 広	資材費の高騰に加え、運搬、嵩工等も高騰しており、受注価格の再検討が急務である。	
釧 路	各社ともフル稼働で推移している。	

<東 北>支部 平成 30 年 5 月期状況報告

提出日 平成 30 年 6 月 1 日

(A)

① 全構協推進事業の現況		② 支部の活動状況
県 名	現 況 要 旨	活 動 要 旨
青森県	◇5/11 青年部総会 ◇5/16 積算業務担当者会議、JASS6 改訂に伴う基準マニュアル講習会	◇5/8 東北積算業務委員会 (仙台) ◇5/18 東北鉄構連役員会 (盛岡) ◇5/28 東北鉄構連会計監査 (花巻、八戸)
岩手県	◇9 日 県南支部会 ◇21 日 平成 30 年度通常総会、理事会、青年部総会 ◇23 日 盛岡支部会 ◇31 日 性能評価傾向対策説明会	
宮城県	◇5/9 役員会・監事会 ◇5/25 通常総会	
秋田県	◇5/7 総会、役員会、営業担当者会議	
山形県	◇5/11 三役会及び役員会・第 42 回通常総会 ◇5/14 超音波研究会 役員会 ◇5/23 青年部総会	
福島県	◇5/9 白河支部会 ◇5/21 青年部役員会 ◇5/25 第 36 回通常総会	

(B)

①手持工事量		②稼働率	③見積件数			④受注価格 (単位: 千円、SRC は建方別)		
県 名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	⑤工場加工費 (図面、原寸、塗装含みの工場オントラックまで)		
青森県	1~8 ヶ月	50~130%	○			S 造	SRC	コラム
						180~240		180~240
岩手県	1~9 ヶ月	70~100%		○		60~85		60~80
						170~240		170~250
宮城県	1~7 ヶ月	60~120%	○			60~120		60~120
						200~240		200~250
秋田県	1~7 ヶ月	90~130%		○		55~80		60~100
						220~220		210~230
山形県	1~5 ヶ月	90~100%			○	60~65		60~70
						200~240		200~240
福島県	1~6 ヶ月	70~120%		○		65~110		65~110
						210~250		200~280
						60~105		60~110

(C)

①今後の景気動向と見通しについて			②業界対策 (意見~提案)	
県 名	見 通 し		県 名	意見~提案
青森県	工場稼働率、手持工事量ともに、高水準を維持した。見積依頼物件数についても増加の兆し。価格については大きな変化はないが、低調に推移している。		青森県	
岩手県	見積物件数は 4 ヶ月連続で若干改善傾向、各社の見積依頼についても『増加』との回答が増えている。受注価格・加工費は依然横ばい。鋼材費等材料費は更なる値上がりを予想する声が大きく、材料納期と合わせて不安材料。		岩手県	
宮城県	今月の見積依頼物件数は増加。材料納期及び工期に注意する必要がある。		宮城県	
秋田県	手持ち工事量、稼働率に大きな変動はない。鋼材、副資材の確保が難しく不安材料となっている。		秋田県	
山形県	見積依頼物件数は平年並みであった。材料単価が不安定であり見積に苦慮しているようで、見積期限や材料納期・工期の設定には、十分確認し注意を払う事。		山形県	
福島県	手持ち工事量、価格とも先月とほぼ変わらず、稼働率も 98% 台で高稼働率を維持。しかしながら、受注価格と追加工事の金額については、それぞれ、不満との回答が 11 社からあった。また、鋼材入手状況が厳しいとの回答が 5 社からあり、引き続き注視が必要である。		福島県	

関東支部【状況報告書】										
(平成30年5月分)										
提出日 平成30年6月4日										
(A)										
都県名	① 各県組合の活動状況							② 支部の活動状況 (要旨)		
東京	23日 協力会総会、M会、第32回通常総会							1. 支部 会議 開催状況		
千葉	5/10南部支部会5/11青年部役員会5/18三役会・通常総会5/24建築士会総会5/25東部支部会5/29建設業協会総会5/31溶接協会総会・JSCA千葉総会									
神奈川	5/24総会開催									
茨城	19日青連協関東ブロック総会、22日第31回通常総会、23日茨城県建築センター理事会、26日溶接検定試験、他技能実習/面接・巡回等									
埼玉	11日青年部役員会、18日JASS6改訂講習、25日固形エンドタブ技量付加試験、26日組合通常総会、27日STK会									
栃木	5/11 青年部役員会、5/17 臨時理事会・工業会第6回通常総会									
群馬	5/23 役員会・総会・懇親会 開催									
長野	5/22：北東技術委員会、5/26-27：UT実技講習会、5/29：通常総会									
山梨	<会議等>10日、24日：30度開先検討委員会 15日：RJグレード部会 18日：社員総会 23日：青年部会、6/2予定展示商談会出展者会議 25日：経営近代化委員会 28日：溶接安全委員会 29日：教育技術委員会 <教育等>14日～16日：新入社員教育(溶接の基礎) 19日：高校生溶接競技会事前実技講習 22日、23日：NDI-UT実技試験対策 24～26日：アーク溶接特別教育 <その他>12日：溶接技能者評価試験									
新潟	5/10 長岡支部 定時総会、5/12 新潟支部 青年部ゴルフコンペ 5/18 第35期 通常総会、5/19 青年部 連合会関東ブロック協議会総会 5/29 JASS6改定に伴うマニュアル改訂の勉強会 (80名参加)									
(B)										
都県名	① 手持工事量 (ヶ月)			② 稼働率%	③ 見積物件数 (Mグレード)			④ 受注価格 (位：千円) 建方込・別		
	Rグレード	Mグレード	Hグレード		多い	普通	少ない	S造 (込)	コラム (込)	SRC (別)
東京	2～4	2～3	8～14	90～100	○			115～130	115～130	
千葉	-	3～5	3～9	90～100		○		110～118	80～128	85
神奈川	3.5	3.3	10.0	80～93		○		93～125	93～140	140～151
茨城	1～2	3～5	6～9	80～100	○			90～110	95～130	120～140
埼玉	2.4	4.7	7.6	87.1～93.3		○		120～128	118～125	126
栃木	2～3	3～7	6～12	90～120	○			100～125	100～135	
群馬	3	3～5	8～12	90～100		○		100～130	105～140	
長野	3～8	3～7	10	80～120			○	90～120	100～120	該当なし
山梨	2～4	2～7	8～14	80～100			○	80～125	80～125	120～135
新潟	5	4	11	90～95		○		110～120	115～120	
(C)										
都県名	① 景気の見通し・業界対策に関する意見・提案									
東京	JASS6を会員各社に1冊配布は大変ありがたいが、鉄骨製作管理技術者教本等は事前にニーズを把握して実施すべき、無駄になる。									
千葉	連休明けから引合い多く、材料費が上がっている。									
神奈川	ぬるま湯的で中小ファブは未透視がたい。									
茨城	繁忙期になってきました。上下関係ではなく同じ目線で仕事を出しあえる組織力の構築。また、UTの再認証試験日が、ばらばらに開催されるので、講習会設定が難しい。									
埼玉	業界のPRや人手不足解消のためあらゆる手段を講じている。6月には埼玉県主催の新卒者や既卒者のための合同企業説明会に当組合として参加が許された。									
栃木	・溶接工、腐、輸送車両の不足 ・図面承認の遅れが工場工程に響いている									
群馬	各グレードとも、手持量3カ月以上、稼働率90%以上を維持している。									
長野	地元物件は相変わらず少ないが、関東物件で忙しくしている状況である。人手は不足している。									
山梨	鋼材 (特にコラム) の納期が長く見込み発注するなど早いタイミングとなっている。									
新潟	県内を含め大きな動きはない。材料費の上昇中、受注価格の維持を意識し、慎重な受注に努めている感がある。組合員は、受注済み物件を粛々とこなしているという感があり、先行きが暗い訳ではないので焦りは感じられない。									

《 北陸 》 支部 状況報告

(平成30年5月分)

(A)

提出日:平成30年6月4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
県名	活動要旨	活動要旨
富山県	5/10 第2回正副理事長会・第40回通常総会 5/14 富山県中小企業青年中央会・通常総会 5/19 青年部会・第37回通常総会 5/21 富山法人会・定時総会 5/23 技術・品質サポート(R1社) 5/31 富山県中小企業団体中央会・通常総会	5/22 全構協・第1回理事会(東京)
石川県	5/21 建設災害防止協会金沢分会通常総会 5/22 第2回三役会、第2回理事会、第47回通常総会	
福井県	5/1 UTLレベル2講習会(実技 ～5/7) 5/10 県建築業団体連合会通常総会 5/11 県中小企業団体中央会役員会 5/12 青年部会通常総会 5/16 認定部会役員会 5/22 県建築士事務所協会懇親会 5/28 鉄工業協同組合連合会事務局会議 5/31 三役会、役員会、通常総会	

(B)

※ ④富山県は、本体の加工費のみ・オントラ渡しとする

県名	①手持工事量 (ヶ月)	②稼働率 (%)	③見積物件数			④受注価格(単位:千円)建方:含む		
			多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
富山県	3～10	90～100		○		～	～	70～120
石川県	2～10	80～100		○		190～250	～	200～250
福井県	3～9	80～120		○		180～260	～	190～260

(C)

①今後の景気動向と見通しについて ②業界対策	
県名	見通し・意見・提案
富山県	殆どのファブで山積みの高い状態が続いており、長残業を強いられている企業もある。(長残業は効率が悪く、怪我のリスクも増えるので、したくないのだが。) また今後、鋼材や副資材(特にHTB)、溶接工の賃金、輸送費などの急激な値上げが予想され、現在辛うじて採算の取れている鉄骨単価にこれらの価格上昇分を転嫁できるかが、これからの課題である。
石川県	全体的に繁忙状態が続いている。工期のずれが散見し、各社ヤードの確保が大変。材料ではボルトが価格上昇し、鋼材納期の遅延が問題。受注単価は適正価格で維持されている様子。適正価格を下げないよう互いの協力・情報交換が大事。見積り案件は出ているが、受けてくれるファブ探しにゼネコンが苦慮しているらしい。
福井県	各グレードとも繁忙状態が継続している。今秋以降の受注量を確実にこなすため、工場内の効率的稼働を模索している傾向にある。県内公共工事については、4月の年度初めに発注が集中したが現在は一服感がある。今後の県内中型大型物件は発注時期が次年度以降になると予想されるため、共同受注によって厳しい環境になっている。

< 中 部 > 支 部 状 況 報 告

(平成 30 年 5 月分)

提出日 平成 30 年 6 月 4 日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
愛知県	15 日 (火) H部会 16 日 (水) 青年部会 18 日 (金) 評価員会 出席 23 日 (水) 第44回通常総会 27 日 (日) 名古屋北支部ゴルフ会 28 日 (月) 女性部会 29 日 (火) 中法人会:通常総会 出席	8 日 (火) 製品・超音波講習会 打合せ 11 日 (金) 中部支部事務局長会議 12 日 (土) 青年部:中部BC全国 22 日 (火) 全構協:理事会 出席
静岡県	16 日 (水) 役員会・総会 18 日 (金) 評価員会 出席	
三重県	各委員会にて本年度事業計画を決定した。	
岐阜県	11 日 (金) 岐阜支部会 18 日 (金) 評価員会 出席 23 日 (水) 第43回通常総会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)		②稼働率(%)	③見積物件数			④受注価格(単位:千円) < 建方 = 含む >		
都道府県	手持工事量	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造	コラム造	SRC造
愛知県	1 ~ 7	80 ~ 100		○		180 ~ 240	180 ~ 250	—
静岡県	2 ~ 6	80 ~ 100		○		180 ~ 220	185 ~ 200	—
三重県	2 ~ 6	90 ~ 100		○		190 ~ 210	200 ~ 230	—
岐阜県	2 ~ 6	100 ~ 120	○			180 ~ 210	190 ~ 210	—

(C)

①今後の景気動向と見通しについて		②業界対策(意見～提案)
都道府県	見 通 し	意 見 ～ 提 案
愛知県	グレードを問わず、目前の仕事量に困ってはいない。	売り手市場の絶好のこの時期に、構成員各社は、全社員に資格を取得させるぐらいの姿勢が自社資質を高める事だと心得ることが大切である。
静岡県	鋼材の価格高騰が続いている。C型や角パイプの値段等も注意が必要。	営業、見積り時に材料高騰分を正しく反映できるように、密に情報を共有していく。
三重県	H・Mグレードは年内～来年夏まで、R・Jグレードにおいても秋口までは忙しい状況が続くのでは？	工事案件の話が出た時に、受注価格を下げない様に注意が必要では。
岐阜県	・加工単価が8万以上の高い水準でした。 ・手持工事量においてもほとんどが3ヶ月以上でした。 ・どこのファブも夏過ぎまで忙しい状況が続いている。	

近畿支部状況報告

(平成30年5月分)

提出日：平成30年6月4日

(A)

府県名	① 全構協推進事業の現状 現 況 要 旨	② 支部活動状況 活 動 要 旨
滋賀県	・5/16 第47回 通常総会 ・5/16 認定工場部会総会	5/9 全構協 近畿支部 会計監査 5/19 全鉄評 評価委員会 5/22 全構協 第1回 理事会
京都府	・5/11 JASS6説明会 調整会議 ・5/14 JASS6・基準マニュアル説明会 ・5/25 総会・役員会 5/25 京都R会総会	
大阪府	・5/9～11 UTレベル1実技講習会 5/25 通常総会・理事会 ・5/25 大阪R会総会	
兵庫県	・5/10 第2回三役会 ・5/25 第46回通常総会	
奈良県	・5/7 三役会・理事会 5/17 総会 ・5/28 臨時三役会・理事会	
和歌山県	・5/8 役員会(監査・理事会) ・5/22 通常総会・懇親会	

(B)

府県名	手持ち工事量 (何ヶ月分)	稼働率 (%)	見積物件数			受注価格(単位：千円) 建方＝含む・含まず		
			多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
滋賀県	2～12	90～100	○			195～270	～	200～240
京都府	3～8	90～100		○		180～230	～	180～240
大阪府	3～5	80～100		○		170～220	190～240	180～230
兵庫県	3～6	90～100		○		170～220	190～230	180～230
奈良県	5～10	100～120		○		220～240	～	210～240
和歌山県	3～12	90～100		○		190～230	190～230	190～230

(C)

府県名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界対策(意見～提案)
滋賀県	手持ちの工事量はグレードとも非常に多い。各社への加工依頼の問合せもある日程が合わない物件が多多数見受けられる状態。少なくとも年内は状況変化なしと見ている。	人材の確保と継続雇用など。
京都府	全体的に動き出している状況である。材料価格高騰が続いている様なので見積価格に注意。各社、各グレード共仕事量確保しており特にHグレードは1年、Mグレードについても半年以上のフapが多数で有るが資材の高騰、人材難、図面決定の遅れ、輸送難等々課題も多数有る。	人材不足に伴い各社との連携を心がけ、状況判断等話し合える様にする。情報の共有化の推進。共同積算の推進。仕事量を共有、助け合える仲間作りを推進。
大阪府	現在の手持ち仕事量は、各社それぞれ確保している。特にHグレードでは、受注残で年内仕事はたくさん有ると聞いている。M・Rグレードでも短期納期の物件で毎日忙しくしている。	材料価格と輸送トラックの価格が高騰している。今後の見積りでは注意が必要である。
兵庫県	BCPの納期が異常にかかるため、コラム物件の対応に注意が必要である。各社とも秋口まで繁忙のようである。	情報交換を密にし、受注価格の安定を図る。
奈良県	地元物件の単価が上がらずしばらく忙しいだけで利益が上がらない。鋼材単価に加え、運送費・電機・外注費が値上り傾向にあり、鉄骨加工単価を高水準に保つ必要がある。仕事の依頼が多く、断るのに苦労している状態。	・各工場の稼働率がわかる一覧表があれば助かる ・人材不足対策として、外国人研修生、女性雇用基準などの検討をする必要がある ・人材確保が出来ない
和歌山県	H、Mグレードは、年内確保の状況であり、なおかつ、年内の応援要請も多い。RJグレードは、3～4ヶ月の山積に状況。	・材料価格の上昇懸念 ・溶接工の確保

中国支部・状況報告

(平成30年5月分)

(A)

提出：平成30年6月4日

① 各県活動状況			② 支部活動状況
県名	日時	現況要旨	活動要旨
鳥取県	1日 7日 25日 31日	監査役会 理事役員会 第26回通常総会・次世代の会例会 同合同懇親会 JASS6改定・基準マニュアル集等勉強会	
島根県	19日 21日	青年部会第33期 通常総会 組合監査、第1回役員会（出雲）	
岡山県	30日	第47回通常総会 JASS6改定・基準マニュアル集等勉強会	
広島県	14日 17日 18日 23日 25日	溶融亜鉛メッキ工場視察（三原） 建築学会中国支部 鋼構造セミナー準備会議 建築学会中国支部総会・建築文化賞授賞式 県中小企業団体中央会理事会 第45回通常総会・懇親会 JASS6改定・基準マニュアル集等勉強会	
山口県	10日 16日 22日 29日	青年部会役員会 共済（塗料）打合わせ 青年部会第24回通常総会 第44回通常総会・懇親会 JASS6改定・基準マニュアル集等勉強会	

(B)

(下記項目の内③は、該当項目に○を、④は、<>に、○をつける。)

① 手持工事量（ヶ月）		② 稼働率（%）	③ 見積物件数			④ 受注単価（千円）〈建方=含む〉		
県名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	S 造	SRC造	コラム造
鳥取県	3～6ヶ月	90～110%	○			195～230	—	200～240
島根県	1～5ヶ月	60～100%			○	200～240	—	210～230
岡山県	1～5ヶ月	90～100%			○	220～245	260～285	220～245
広島県	2～11ヶ月	80～150%	○			195～240	—	200～240
山口県	3～4ヶ月	100%	○			265	285	260

(C)

① 今後の景気動向と見通しについて		② 業界対策（意見・提案）
県名	景気動向と見通し	活動要旨
鳥取県	見積り依頼件数が多い状況が継続している ようやく新年度の工事が動き出し、加工の山が一気に高くなる ことが予想される。入札後や解体工事後の物件等で今年上半年 も順調に推移する模様。	鳥取県 UT資格の更新が大変難しくなっているの、講習会開催回数を増 やして欲しい。
島根県	落ち着いた状況となっていたが、6月あたりから徐々に動きが 増す見込み。鋼材に関しては、供給面・価格面ともに対応に する状況が続いている。また、図面承認の遅れから、6～8 月にかけて厳しい加工状況となるファブも見受けられる。 尚、手持ち工事量の多いファブでは、年末年始での大型工事 の崩れ具合が課題となる模様。その他のファブでも年内は、 仕事量は確保出来る見込み。	岡山県 昨年度から、公共工事も含め、粗悪な図面による工事発注の 増加が極めて顕著になってきたと感じる。 工事受注の際に法定されている三者協議（発注者、設計者、 施工業者）の適切な運用について、監督官庁等らの指導が必要 と考える。
岡山県	首都圏を主な顧客とし繁忙なHグレードのみならず地元物件 中心のMグレードも好調を維持している。但し、地元の発注状 況は数年に比べて厳しさを増し、夏以降の落込みが心配。	
広島県	依然として高い稼働率が維持されており、回答企業の過半数 が稼働率100%かそれ以上で多忙と答えており、早くも繁 忙期到来が予想される夏場の生産能力低下防止策を模索す るファブもいる。 そうした中、図面承認の遅れ等による工程のずれやコストア ップに苦しむ声に加え、BCPコラムや外法H型鋼をはじめ 鋼材の入手困難と納期長期化が本格化しており、様々な工夫 や対策に頭を悩ませる声が多数聞こえてきている。	
山口県	鉄骨工事物件数及び仕事量は、若干減少傾向で推移するも、 先月に引き続き、県外工事主体で忙しいS・Hグレードファブ は勿論、Mグレード以下のファブも3～4ヶ月の手持ち工事 量を確保している。 工事価格も、鋼材価格の値上がりに応じた上昇傾向が続く。 県内ファブの多くが95%以上の高稼働状態にあるが、夏場 は超繁忙期に突入の見込み。	

(四 国) 支部 状況報告

(平成30年5月分)

提出日 平成30年 6月4日

(A)

①正会員活動状況		②支部活動状況
都道府県名	活 動 要 旨	活 動 要 旨
徳島	5/12 ゴルフコンペ 5/17.14.18.22.28 UT1・2実技講習会 5/15 第2回情報交換会・理事会 5/29 総会 5/31 青年部幹事会	
香川	5/ 9 塗料検討会 5/24 H30年度通常総会	
愛媛	5/10東予地区会 5/25定時総会	
高知	5/12 理事会 5/25 総会	

(B)

①手持工事量(ヶ月)		②稼働率(%)	③見積件数			④受注価格(単位千円)建方を含む		
都道府県名	手持工事量	稼働率	多い	普通	少ない	S造	SRC造	コラム
徳島	1 ～ 6	80 ～ 100		○		～	～	～
香川	2 ～ 4	80 ～ 100			○	190 ～ 250		
愛媛	2 ～ 7	80 ～ 100			○	190 ～ 250		
高知	2 ～ 5	80 ～ 100			○	200 ～ 250		

(C)

①今後の見通し

都道府県名	見 通 し	意 見 ～ 提 案
徳島	5月の物件報告数は、4月より若干の増加。 また、県内工事が前月より2割の増加。 Mグレード以上の組合員は手持ち工事も多く、年度内は確保できている工場もあるが、Rグレード以下は、1～2か月くらいの手持ち工事量となっている。	性能評価制度のPR。積算会社の活用。 法定福利費を含んだ見積書を実施する。 地場ゼネコンの仕事量が少ないので、値崩れしないよう情報交換を密にする。
香川	組合員全体としての手持ち工事量は3ヶ月程度を確保しているが、現状での県内見積件数は少なく夏以降の見通しは不透明である。しかし、県外からの物件見積もりも出ており秋以降の見通しも明るいとするFABも見受けられる。	現状では一定程度、需要と供給のバランスは取れていると思われる。しかし、需要に対し加工能力、また価格面などに対応できないケースも散見される。従って、組合組織を活かした仕組をどう構築するかが重要である。
愛媛	県下全体としては受注残は数ヶ月はある。南予では地元物件が少ないとの声を聞くが、地元の認定工場が減り、また各工場の加工能力が低下する中、今有る認定工場では地場物件では需給バランスがとれて公共物件を中心に仕事量を確保できている。よって受注意思の無い見積物件も多く、KSシステムを利用して組合員からの見積情報を得ようとしている。	時間も人件費も掛かる不必要な見積を省くためにも更にKSシステムを活用して組合員間での物件情報交換を進める事が重要である。見積物件情報の他にも値上がりが続く鋼材・材料・外注人件費等の情報について組合員間で共有する事も重要である。
高知	見積件数は4月度よりは若干増加したが前年の8掛け程度。価格は横ばい傾向が続いている。 手持ち工事量はRで2か月Mで2～5か月程度。	物件報告を徹底し情報を共有し 適正価格での受注を目指す。法定福利費を明示した見積書の推進を行い全社が明示するように徹底していく。

九州支部状況報告

(平成30年5月分)

提出日:平成30年6月6日

(A)

県名	① 県内の活動状況	② 支部活動状況
		活動要旨
福岡	・5/12 青年部総会 ・5/25 第41回通常総会	・5/13 九州支部H部会役員会 ・5/21 日本鉄鋼連盟九州地区サブネットワーク運営委員会
佐賀	5/14 県工業連合会総会 5/15 中央会総会 5/18 第43回通常総会・JASS6講習会 5/28 臨時総会・県建設業協会総会	
長崎	5/18 第2回、3回理事会、第38回通常総会 5/22 長崎県溶接協会通常総会、第1回役員会 出席 5/24 長崎県中小企業団体中央会通常総会 出席 5/31 長崎県建築鉄骨研究会第10回総会 出席	
熊本	5月11日監査、22日理事会・定例会・総会開催	
大分	5/16青年部総会、JASS6改定講習会、親会総会、懇親会	
宮崎	1日:青年部会幹事会 23日:組合通常総会 28日:中小企業団体中央会総会	
鹿児島	9日技術委員会 16日通常総会・青年部会総会 30日かごしま取引推進協議会	
沖縄	・5/1:定例理事会、17日:定例営業部会及び総会、18日:組合通常総会 22日:建設業safe, Work運動推進協議会、23日:技術委員会 28日:建専連理事意見交換会、29日:技能5輪推進協議会総会 31日:溶接協会総会	

(B)

県名	① 手持工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③ 見積物件数			④受注価格(単位:千円)(建方=含む)		
	H	M	R・J・末		多い	普通	少ない	S造(H+H)	コラムH造	SRC造
福岡	6~12	3~6	1~3	90~100		○		210~260	210~260	—
佐賀	6	3~5	1~3	80~100		○		200~250	210~260	—
長崎	6~10	3~6	—	90~100			○	210~260	210~260	—
熊本	6.5	2.5	2	98.6			○		210~260	—
大分	7~9	3	—	80~100		○		220~260	200~280	—
宮崎	2~7	4~6	1~3	80~100		○		186~280	190~270	230~260
鹿児島	4~12	1~4	1~3	50~100			○	200~280	200~280	—
沖縄	2~3	2	—	60~100			○	250~280	240~270	—

(上記項目の内、③については該当する項目に○を付けて下さい。)

(C)

県名	① 今後の景気動向と見通しについて	② 業界対策についての提案事項
福岡	見積物件数少ないが、手持ち工事量としてはグレードにかかわらず堅調である。	適正価格の受注、会員相互の協調、情報の共有化の推進。
佐賀	・物件の引合、見積が増加傾向、今後仕事量は多くなりそう。 ・人手不足、工程の遅れ等の影響が出ている。	情報交換を行い、受注価格の維持に努める。
長崎	見積物件数が少なくなってきた。ただし、手持ち工事量は4~6ヶ月以上確保し忙しい状況です。	人手不足対策
熊本	災害復旧工事や耐震補強工事等で手持ち工事量は多い状態が続いている。	—
大分	◎来年いっぱい受注工事があるので問題は無いだろう。 ◎プラント工場の物件の見積が多い。	◎共積会 ◎安い単価で受注しているところがあるので単価を下げないでほしい。
宮崎	・手持ち工事量・稼働率ともに上昇してきた。一方、鋼材の流通状況や運搬費の上昇等に注視が必要。	・S造の推進及び認定工場のPR活動と共同受注の推進 ・適正価格による受注契約(採算性の追求)
鹿児島	人手不足が顕著。見積りが少なく、仕事量も減少傾向。6月から好転か。	鋼材単価上昇に見積りも上げて来ているが、まだまだ頑張るところ。
沖縄	見積物件数、報告件数とも少ない。Hグレードの工場稼働率にバラつきが出ている。	情報の共有化及び適正価格での受注。

第51回通常総会当日のスケジュール

<平成30年6月8日(金)>

- | | | |
|----------------------------|--------------------------------|------------------------|
| (1) 第4回 三役会 | 10:00 ~ 11:15 | 会長室 |
| (2) 第2回 理事会 | 11:30 ~ 13:45
(食事) | 鉄鋼会館 [805 号室] |
| (3) (株)全国鉄骨評価機構 株主総会 | 14:00 ~ 14:45 | 〃 [701 号室] |
| (4) 第51回 通常総会
(第3回 理事会 | 15:00 ~ 16:30
16:05 ~ 16:20 | 〃 [701 号室]
805 号室) |
| (5) 表彰式 | 16:30 ~ 16:45 | 〃 [701 号室] |
| (6) 懇親会 | 17:00 ~ 18:30 | 〃 [900 号室] |

以 上

(一社)全国鐵構工業協会 懇親会次第 (通常総会終了後)

(平成 30 年 6 月 8 日<金> 17:00 開始)

司会・・・ 総務部部長

1. 役員紹介(三役) (ステージ登壇)

- ・ 会長 米森 昭夫
- (・ 副会長 村山 功) [欠席]
- ・ 副会長 永井 毅
- ・ 副会長 高橋 伸和
- ・ 専務理事 齊藤 眞

2. 会長挨拶 ○米森会長

3. 来賓紹介・ご祝辞

- | | | | |
|--------|-------|--------|---------|
| ○経済産業省 | 製造産業局 | 金属課長 | 小見山康二 様 |
| ○国土交通省 | 住宅局 | 建築指導課長 | 淡野 博久 様 |

4. その他来賓紹介

- | | | | |
|--------|-------|-------|----------|
| ○経済産業省 | 製造産業局 | 金属課 | 岡田課長補佐 他 |
| ○国土交通省 | 住宅局 | 建築指導課 | 川崎企画専門官 |

5. 乾杯

玉木顧問

<歓 談>

6. 中締め

永井副会長

以上